



平成 22 年 2 月 9 日

各 位

会社名 曙ブレーキ工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 信元 久隆  
 (コード番号 7238 東証第一部)  
 問合せ先 経理部長 岡田 拓信  
 (TEL. 048-560-1501)

### 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 11 月 4 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

#### 記

#### 1. 平成22年3月 通期連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	126,000	3,000	1,000	500	4 円 66 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	129,500	4,000	2,000	1,500	12 円 96 銭
増 減 額 (B-A)	+3,500	+1,000	+1,000	+1,000	—
増 減 率 (%)	+2.8	+33.3	+100.0	+200.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月 期)	159,649	△6,289	△7,900	△16,277	△151 円 65 銭

#### (修正の理由)

自動車産業を取り巻く環境は改善しており、特に日本及びアジア地域での生産・販売については、前予想時と比べ更に増加傾向に推移すると予想されます。従い、通期連結業績を上記のとおり上方修正いたします。地域別の内容は以下のとおりです。

日 本…売上高は過去のピークに比べれば低迷しているものの、エコカー減税等の政府施策による効果もあり、上期後半からの回復基調は第3四半期段階でも想定以上に強いものとなっております。また、利益面でも、国内再編及びコスト削減が順調に進んでいることから、売上高 (31億円増加) 及び営業利益 (9.4億円増加) を上方修正いたします。

北 米…売上高は前回予想に対し、ほぼ同じ水準となる見込みです。利益面では、コスト削減効果の実現もありますが、Robert Bosch GmbHとの北米ブレーキ事業譲受けに関する一時的な費用の発生も見込まれており、営業損失は前回予想に対し拡大する見込みです。

アジア…中国及びインドネシアで完成車メーカーからの受注が前回予想に対し増加しております。この影響に加え、コスト削減による効果が見込まれていることから、前回予想に対し、売上高 (8億円増加)、営業利益 (2.6億円増加) とともに上方修正いたします。

(ご参考-1: 地域別業績予想修正の内訳)

	売上高			営業利益			
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減	
日本	79,100	82,200	+3,100	1,700	2,640	+940	
北米	35,000	35,300	+300	△800	△1,010	△210	
欧州	4,000	4,100	+100	40	30	△10	
アジア	タイ	2,300	2,300	±0	50	80	+30
	中国	3,300	3,600	+300	410	570	+160
	インドネシア	10,000	10,600	+600	1,440	1,710	+270
	アジア内消去	△700	△800	△100	0	△200	△200
アジア	14,900	15,700	+800	1,900	2,160	+260	
消去	△7,000	△7,800	△800	160	180	+20	
合計	126,000	129,500	+3,500	3,000	4,000	+1,000	

(ご参考-2: 当期業績予想の修正履歴)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成21年5月7日 期初予想	122,000	2,500	500	200	1円86銭
平成21年11月4日 修正発表	126,000	3,000	1,000	500	4円66銭
今回修正予想	129,500	4,000	2,000	1,500	12円96銭

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 平成22年3月期配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年9月15日)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 (未定)	円 銭 (未定)
今回修正予想	—	—	—	5.00	5.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	—	5.00	—	0.00	5.00

### (2) 修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけております。業績及び配当性向、持続的な成長のための投資資金としての内部留保などを総合的に考慮しながら、長期的に安定した配当の維持を基本としております。当期の期末配当につきましては、当初の予想を上回る堅調な受注量の回復がある中で、ほぼ計画どおりにコスト削減の効果が見込まれることから、コスト構造改革に一定の目処がつき、将来も利益を創出できる体制が整ったと判断し、1株当たり5円とさせて頂くことといたしました。

以上